地方独立行政法人

大阪健康安全基盤研究所

Osaka Institute of Public Health

大阪健康安全基盤研究所は、
健康と生活の安全を守るために、
公衆衛生に係る調査研究、試験検査及び研修指導並びに
公衆衛生情報等の収集、解析、提供等の業務を行っています。

OIPH

健康と生活の安全を脅かす原因を究明し人々の命を守る。

ご挨拶

地方独立行政法人・大阪健康安全基盤研究所（OIPH）は、
大阪府立公衆衛生研究所と大阪市立環境科学研究所の
衛生部門が統合し、2017年4月1日に発足しました。

当研究所はその名の通り、地域の皆様の健康と生活の安全を脅かす
様々な事象の原因を明らかにし、その成果を社会に還元することにより、
人々の命を守るという重要な役割を担う機関です。
日々変化する感染症、食品、薬品、環境などに関わる問題の解決に向けて、
新たな検査法、解析方法の開発にも取り組んでまいります。

2つの研究所を統合、独法化することにより、機能強化と意思決定の迅速化が図られ、
大阪の健康危機管理に貢献できる研究所となるよう努力してまいります。

大阪健康安全基盤研究所理事長　奥野 良信

5つの柱

「西日本の中核的な地方衛生研究所」に向けた機能強化

1 健康危機管理部門 疫学調査チームの設置

- ○ 広く最新の公衆衛生・健康危機情報を収集、評価
- ○ 健康危機事象発生時に保健所等による実地疫学調査を支援

2 疫学解析研究部門の設置

- ○ 疾病の流行に影響を与えている多様な要因を解析し、対応策を探索
- ○ 試行研究等を実施し、成果を行政に助言

3 試験検査の信頼性確保部門の設置

- ○ 研究所内の内部精度管理等により、試験検査の作業手順等を確認し、指摘・指導

4 府内中核市に対する支援体制の構築

- ○ 職員向け技術研修の実施、対応困難な高度な試験検査の受入れ

5 学術分野・産業界への支援・連携体制の確立

- ○ 地方衛生研究所の強みを活かした連携の深化、相談機能の強化

業務紹介

総務部

- 人事労務、庶務、法務、文書管理
- 予算、経理、契約、財産管理

企画部

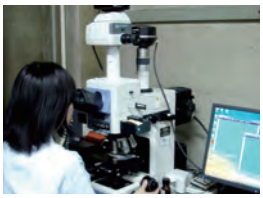
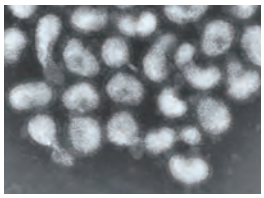
- 法人業務の企画調整に関すること
- 試験検査の信頼性確保業務

公衆衛生部

- 健康危機管理情報の収集と提供
- 基幹感染症情報センターの運営
- 疫学解析研究業務

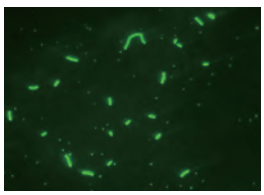
微生物部

- 食中毒の原因因子の検索・同定
- 感染症の原因病原体の検索・確定診断
- 感染症発生動向調査
- 病原体を媒介する動物、節足動物の調査研究
- 感染症に関する疫学調査・解析・研究

衛生化学部

- 食品中の残留農薬、食品添加物、重金属等の試験検査、分析法の開発。
- 栄養成分や機能性成分等の試験検査、特定保健用食品の許可試験等
- 医薬品等の品質確保および健康被害防止に関する試験・研究
- 危険ドラッグに関する試験・研究
- 水道水等の微量有害物質の検査・研究
- 環境中の放射能調査、環境微生物の検査・研究



受託研究・共同研究

大学・企業・その他研究機関等と連携して調査・研究を実施

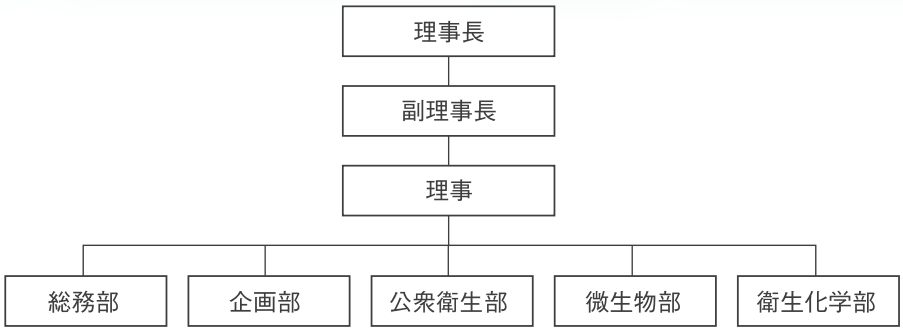
研修・講習

国内外の公衆衛生関係者等への技術研修や講習会等の開催

情報発信

公衆衛生に関する幅広い情報の収集と、ホームページやメールマガジン、出版物等による情報提供と公開セミナーや体験講座の開催

組織図



沿　革

(旧) 大阪府立公衆衛生研究所

1880年12月　警察部衛生課に、細菌検査・化学試験を主とした検査室を設置

1948年12月　大阪府細菌検査所と改称

1949年10月　部門を増設して大阪府立衛生研究所を設置

1960年　7月　府立労働科学研究所を統合、大阪府立公衆衛生研究所を設置

(旧) 大阪市立環境科学研究所

1906年　8月　市立大阪衛生試験所創設

1921年　4月　大阪市立衛生試験所に改称

1942年　6月　大阪市立生活科学研究所に改称

1950年　9月　大阪市立予防衛生研究所及び市立防疫所を統合、大阪市立衛生研究所を設置

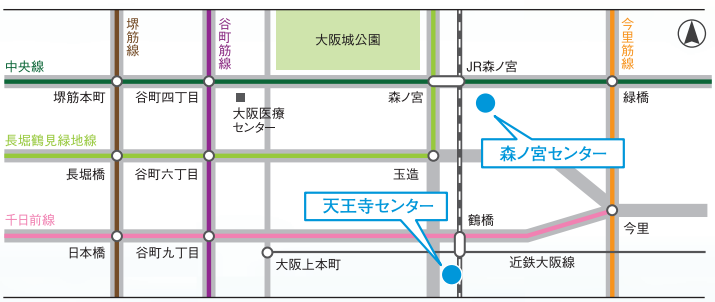
1974年12月　大阪市立環境科学研究所と改称

2017年　4月　大阪府立公衆衛生研究所と大阪市立環境科学研究所の衛生部門を統合し、大阪健康安全基盤研究所を設置

地方独立行政法人

大阪健康安全基盤研究所

Osaka Institute of Public Health



森ノ宮センター　〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-69　TEL：06-6972-1321

［アクセス］JR大阪環状線、大阪市営地下鉄中央線「森ノ宮」駅から徒歩5分

天王寺センター　〒543-0026 大阪市天王寺区東上町8-34　TEL：06-6771-8331

［アクセス］JR大阪環状線、大阪市営地下鉄千日前線、近鉄大阪線奈良線「鶴橋」駅から徒歩約5分